

「福島第一原子力発電所構内における土壤中の放射性物質の核種分析の結果について(続報29)」
(平成23年8月17日発表)

(別紙2)

誤

福島第一原子力発電所 土壤中のガンマ線核種分析結果

- 測定結果 発電所構内における土壤のガンマ線核種分析結果は下表の通り。Puの分析を行った全試料について分析を行った。
- 評価 平成21年度に福島県で測定した土壤のガンマ線核種分析結果は以下の通りであり、これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されている。

<H21年度福島県による土壤分析結果>
Cs-137:ND~21Bq/kg・乾土、その他:ND

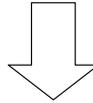
(単位:Bq/kg・乾土)

試料採取場所	【定点①】*1 グラウンド (西北西約500m)*2	【定点②】*1 野鳥の森 (西約500m)*2	【定点③】*1 産廃処分場近傍 (南南西約500m)*2	
試料採取日	8月1日	8月1日	8月1日	
分析機関	日本分析センター*3	日本分析センター*3	日本分析センター*3	
測定日	8月3日	8月3日	8月3日	
核種	I-131(約8日)	ND	ND	ND
	I-132(約2時間)	ND	ND	ND
	Cs-134(約2年)	1.7E+04	6.1E+03	1.1E+05
	Cs-136(約13日)	ND	ND	ND
	Cs-137(約30年)	2.0E+04	6.7E+03	1.2E+05
	Sb-125(約3年)	ND	ND	ND
	Te-129m(約34日)	ND	ND	ND
	Te-132(約3日)	ND	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND	ND
	Nb-95(約35日)	ND	ND	ND
	Ru-106(約370日)	ND	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND	ND
	La-140(約2日)	ND	ND	ND
	Be-7(約53日)	ND	ND	ND
	Ag-110m(約250日)	2.2E+03	ND	ND

*1 「①グラウンド」「③産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「②野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

*2 1.2号機スタックからの距離

*3 日本分析センターにおける分析結果は、試料採取時までの半減期補正を行っていない



誤:2.2E+03 → 正:ND

正

福島第一原子力発電所 土壤中のガンマ線核種分析結果

(別紙2)

- 測定結果 発電所構内における土壤のガンマ線核種分析結果は下表の通り。Puの分析を行った全試料について分析を行った。
- 評価 平成21年度に福島県で測定した土壤のガンマ線核種分析結果は以下の通りであり、これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されている。

<H21年度福島県による土壤分析結果>
Cs-137:ND~21Bq/kg・乾土、その他:ND

(単位:Bq/kg・乾土)

試料採取場所	【定点①】*1 グラウンド (西北西約500m)*2	【定点②】*1 野鳥の森 (西約500m)*2	【定点③】*1 産廃処分場近傍 (南南西約500m)*2	
試料採取日	8月1日	8月1日	8月1日	
分析機関	日本分析センター*3	日本分析センター*3	日本分析センター*3	
測定日	8月3日	8月3日	8月3日	
核種	I-131(約8日)	ND	ND	ND
	I-132(約2時間)	ND	ND	ND
	Cs-134(約2年)	1.7E+04	6.1E+03	1.1E+05
	Cs-136(約13日)	ND	ND	ND
	Cs-137(約30年)	2.0E+04	6.7E+03	1.2E+05
	Sb-125(約3年)	ND	ND	ND
	Te-129m(約34日)	ND	ND	ND
	Te-132(約3日)	ND	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND	ND
	Nb-95(約35日)	ND	ND	ND
	Ru-106(約370日)	ND	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND	ND
	La-140(約2日)	ND	ND	ND
	Be-7(約53日)	ND	ND	ND
	Ag-110m(約250日)	ND	ND	ND

*1 「①グラウンド」「③産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「②野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

*2 1.2号機スタックからの距離

*3 日本分析センターにおける分析結果は、試料採取時までの半減期補正を行っていない

福島第一原子力発電所 土壌中のガンマ線核種分析結果

1. 測定結果 発電所構内における土壌のガンマ線核種分析結果は下表の通り。Puの分析を行った全試料について分析を行った。
2. 評価 平成21年度に福島県で測定した土壌のガンマ線核種分析結果は以下の通りであり、これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されている。

< H21年度福島県による土壌分析結果 >

Cs-137:ND ~ 21Bq/kg・乾土、 その他:ND

(単位: Bq/kg・乾土)

試料採取場所		【定点】*1 グラウンド (西北西約500m)*2	【定点】*1 野鳥の森 (西約500m)*2	【定点】*1 産廃処分場近傍 (南南西約500m)*2
試料採取日		8月1日	8月1日	8月1日
分析機関		日本分析センター*3	日本分析センター*3	日本分析センター*3
測定日		8月3日	8月3日	8月3日
核種	I-131(約8日)	ND	ND	ND
	I-132(約2時間)	ND	ND	ND
	Cs-134(約2年)	1.7E+04	6.1E+03	1.1E+05
	Cs-136(約13日)	ND	ND	ND
	Cs-137(約30年)	2.0E+04	6.7E+03	1.2E+05
	Sb-125(約3年)	ND	ND	ND
	Te-129m(約34日)	ND	ND	ND
	Te-132(約3日)	ND	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND	ND
	Nb-95(約35日)	ND	ND	ND
	Ru-106(約370日)	ND	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND	ND
	La-140(約2日)	ND	ND	ND
	Be-7(約53日)	ND	ND	ND
	Ag-110m(約250日)	ND	ND	ND

*1 「グラウンド」「産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

*2 1,2号機スタックからの距離

*3 日本分析センターにおける分析結果は、試料採取時までの半減期補正を行っていない